

施設名	旧八百津発電所施設(きゅうやおつはつでんしょせつ)								
所在地	岐阜県 八百津町								
管理者等	八百津町								
施設種類・分野	河川								
施設概要 (明治期との関連含む)	<p>旧八百津発電所施設は、木曾川中流域の右岸に位置する。発電所本館は、八百津水力発電工事の一環として明治44年に竣工し、大正6年には放水口発電所が本館の北西に建設された。これらは、木曾川水系に最初に設けられた、わが国最初期の大規模発電所の施設として、重要文化財に指定されている。</p>								
	岐阜県HPより引用								
築造時期	明治後期				時期詳細	明治44(1911)年			
関連人物	—								
関連企業	—								
トピックス (特徴的エピソード)	水槽及び余水路は、発電所本館とともに、わが国で最初期の大規模水路式発電所施設の構成を今に伝える貴重な遺構である。								
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産(土木学会)	—	文化財(文化庁)	重要文化財	近代化産業遺産(経産省)	○	世界遺産(ユネスコ)	—
その他 (関連資料、文献)	文化庁HP https://kunishitei.bunka.go.jp/bsys/maindetails.asp								
管理者等のHP (URL等)	岐阜県HP https://www.pref.gifu.lg.jp/shakai-kiban/kendo/horei/11650/rekishiteki-doboku-kisogawa1.html								

